

2022 事業年度

決 算 報 告 書

自 2022年4月1日

至 2023年3月31日

目 次

貸 借 対 照 表
正味財産増減計算書
計算書類の附属明細書
財 産 目 録
監 事 監 査 報 告 書
独立監査人の監査報告書

貸 借 対 照 表

2023年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	183,546,477	268,765,955	△ 85,219,478
未収金	457,503,914	568,208,595	△ 110,704,681
前払金	34,407,365	28,764,597	5,642,768
流動資産合計	675,457,756	865,739,147	△ 190,281,391
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本金預金	300,000,000	300,000,000	0
基本財産合計	300,000,000	300,000,000	0
(2) 特定資産			
建物及び附属設備	2	6	△ 4
構築物	71,817,837	81,059,021	△ 9,241,184
什器備品	12,757,207	23,545,177	△ 10,787,970
退職給付引当資産	246,990,542	225,290,466	21,700,076
研究助成事業拡充資金	20,000,000	20,000,000	0
特定資産合計	351,565,588	349,894,670	1,670,918
(3) その他固定資産			
建物及び附属設備	15,255,974	3,736,024	11,519,950
構築物	293,721,146	294,474,882	△ 753,736
什器備品	16,700,281	10,812,956	5,887,325
リース資産	15,518,880	55,834,812	△ 40,315,932
ソフトウェア	967,501	1,813,300	△ 845,799
電話加入権	1,807,836	1,807,836	0
敷金	36,204,070	36,204,070	0
保証金	2,068,332	2,228,332	△ 160,000
その他固定資産合計	382,244,020	406,912,212	△ 24,668,192
固定資産合計	1,033,809,608	1,056,806,882	△ 22,997,274
資産合計	1,709,267,364	1,922,546,029	△ 213,278,665

科 目	当年度	前年度	増 減
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	66,360,782	170,720,711	△ 104,359,929
預り金	4,383,242	4,731,498	△ 348,256
短期借入金	290,000,000	400,000,000	△ 110,000,000
短期リース債務	16,653,823	42,697,749	△ 26,043,926
賞与引当金	18,020,864	17,680,171	340,693
流動負債合計	395,418,711	635,830,129	△ 240,411,418
2. 固定負債			
退職給付引当金	232,542,542	212,942,466	19,600,076
役員退職慰労引当金	14,448,000	12,348,000	2,100,000
長期リース債務	0	16,653,823	△ 16,653,823
固定負債合計	246,990,542	241,944,289	5,046,253
負債合計	642,409,253	877,774,418	△ 235,365,165
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
政府機関補助金	84,358,339	104,306,381	△ 19,948,042
科学研究費補助金受贈資産	216,707	297,823	△ 81,116
地方公共団体出捐金	89,000,000	89,000,000	0
寄付金	198,551,000	198,551,000	0
指定正味財産合計	372,126,046	392,155,204	△ 20,029,158
(うち基本財産への充当額)	(287,551,000)	(287,551,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(84,575,046)	(104,604,204)	(△20,029,158)
2. 一般正味財産	694,732,065	652,616,407	42,115,658
(うち基本財産への充当額)	(12,449,000)	(12,449,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
正味財産合計	1,066,858,111	1,044,771,611	22,086,500
負債及び正味財産合計	1,709,267,364	1,922,546,029	△ 213,278,665

正味財産増減計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	(34,001)	(34,658)	(△ 657)
基本財産受取利息	34,001	34,658	△ 657
② 特定資産運用益	(4,902)	(5,999)	(△ 1,097)
特定資産受取利息	4,902	5,999	△ 1,097
③ 事業収益	(1,314,199,950)	(1,305,616,224)	(8,583,726)
研究業務支援事業収益	538,691,690	533,146,162	5,545,528
政府機関受託研究収益	262,025,460	264,591,362	△ 2,565,902
民間企業等受託研究収益	513,482,800	507,878,700	5,604,100
④ 受取補助金等	(19,948,028)	(160,734,784)	(△ 140,786,756)
受取政府機関補助金振替額	19,948,028	160,734,784	△ 140,786,756
⑤ 受取寄付金	(81,116)	(204,700)	(△ 123,584)
固定資産受贈益振替額	81,116	204,700	△ 123,584
⑥ 雑収益	(658,444)	(637,521)	(20,923)
受取利息	1,718	1,665	53
雑収益	656,726	635,856	20,870
経常収益計	1,334,926,441	1,467,233,886	△ 132,307,445
(2) 経常費用			
① 事業費	(1,244,487,042)	(1,377,759,021)	(△133,271,979)
役員報酬	13,524,000	22,790,400	△ 9,266,400
給料手当	359,300,780	382,000,477	△ 22,699,697
賞与引当金繰入額	16,459,905	16,049,755	410,150
臨時雇賃金	89,309,577	91,313,903	△ 2,004,326
退職給付費用	18,831,051	31,146,130	△ 12,315,079
法定福利費	75,244,118	76,509,408	△ 1,265,290
福利厚生費	3,486,433	3,435,630	50,803
人材派遣費	60,177,582	71,693,237	△ 11,515,655
会議費	5,196,967	600,260	4,596,707
旅費交通費	27,628,227	30,559,204	△ 2,930,977
通信運搬費	21,406,484	26,029,910	△ 4,623,426
減価償却費	119,825,689	149,666,063	△ 29,840,374
図書購入費	772,133	1,054,096	△ 281,963
消耗品費	12,946,183	8,108,389	4,837,794
修繕費	4,067,627	17,635,600	△ 13,567,973

科 目	当年度	前年度	増 減
印刷製本費	4,405,118	3,783,256	621,862
光熱水料費	7,201,688	5,889,368	1,312,320
調査研究費	145,121,018	170,576,684	△ 25,455,666
保守点検費	35,748,224	34,069,940	1,678,284
データベース諸費	14,514,241	20,287,263	△ 5,773,022
賃借料	96,330,083	98,660,412	△ 2,330,329
清掃費	2,525,305	2,461,364	63,941
諸謝金	24,866,502	18,853,082	6,013,420
支払助成金	1,010,376	367,319	643,057
情報啓蒙費	3,548,869	3,887,017	△ 338,148
保険料	1,105,123	1,202,497	△ 97,374
諸会費	2,446,466	1,916,671	529,795
租税公課	69,937,578	75,013,192	△ 5,075,614
支払利息	3,219,372	5,989,341	△ 2,769,969
雑費	4,330,323	6,209,153	△ 1,878,830
② 管理費	(51,517,497)	(59,624,617)	(△8,107,120)
役員報酬	8,624,000	8,837,600	△ 213,600
給料手当	19,813,273	23,111,330	△ 3,298,057
賞与引当金繰入額	1,560,959	1,630,416	△ 69,457
退職給付費用	2,869,025	2,829,325	39,700
法定福利費	3,559,978	4,201,557	△ 641,579
会議費	1,750	1,440	310
旅費交通費	1,062,257	1,170,025	△ 107,768
通信運搬費	47,841	59,848	△ 12,007
減価償却費	58,029	56,379	1,650
消耗品費	100,348	120,196	△ 19,848
印刷製本費	236,940	206,800	30,140
光熱水料費	305,779	242,926	62,853
保守点検費	55,000	85,800	△ 30,800
賃借料	3,558,405	4,422,146	△ 863,741
清掃費	269,465	333,406	△ 63,941
諸謝金	5,213,120	7,293,110	△ 2,079,990
保険料	112,277	142,333	△ 30,056
諸会費	250,000	431,300	△ 181,300
租税公課	3,719,112	4,312,738	△ 593,626
支払利息	83,439	125,272	△ 41,833
雑費	16,500	10,670	5,830
経常費用計	1,296,004,539	1,437,383,638	△ 141,379,099
当期経常増減額	38,921,902	29,850,248	9,071,654

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	3,373,802	43,491,219	△ 40,117,417
① 受取補助金等	(14)	(43,305,677)	(△43,305,663)
受取政府機関補助金振替額	14	43,305,677	△ 43,305,663
② 受取寄付金	(0)	(185,542)	(△ 185,542)
固定資産受贈益振替額	0	185,542	△ 185,542
③ 雑収益	(3,373,788)	(0)	(3,373,788)
雑収益	3,373,788	0	3,373,788
(2) 経常外費用	180,046	43,800,104	△ 43,620,058
① 特定資産除却損	(14)	(43,491,219)	(△43,491,205)
建物及び附属設備除却損	0	1,834,424	△ 1,834,424
構築物除却損	0	39,197,690	△ 39,197,690
什器備品除却損	14	1,705,625	△ 1,705,611
電話加入権除却損	0	753,480	△ 753,480
② 固定資産除却損	(180,032)	(308,885)	(△128,853)
建物及び附属設備除却損	153,024	0	153,024
什器備品除却損	8	308,885	△ 308,877
ソフトウェア除却損	27,000	0	27,000
当期経常外増減額	3,193,756	△ 308,885	3,502,641
当期一般正味財産増減額	42,115,658	29,541,363	12,574,295
一般正味財産期首残高	652,616,407	623,075,044	29,541,363
一般正味財産期末残高	694,732,065	652,616,407	42,115,658
II 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等	(0)	(125,000,000)	(△125,000,000)
受取政府機関補助金	0	125,000,000	△ 125,000,000
② 固定資産受贈益	(0)	(210,100)	(△210,100)
什器備品受贈益	0	210,100	△ 210,100
③ 一般正味財産への振替額	(△ 20,029,158)	(△ 204,430,703)	(184,401,545)
受取政府機関補助金振替額	△ 19,948,042	△ 204,040,461	184,092,419
什器備品受贈益振替額	△ 81,116	△ 390,242	309,126
当期指定正味財産増減額	△ 20,029,158	△ 79,220,603	59,191,445
指定正味財産期首残高	392,155,204	471,375,807	△ 79,220,603
指定正味財産期末残高	372,126,046	392,155,204	△ 20,029,158
III 正味財産期末残高	1,066,858,111	1,044,771,611	22,086,500

正味財産増減計算書内訳表

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	(17,000)	(17,001)	(34,001)
基本財産受取利息	17,000	17,001	34,001
② 特定資産運用益	(4,167)	(735)	(4,902)
特定資産受取利息	4,167	735	4,902
③ 事業収益	(1,261,631,952)	(52,567,998)	(1,314,199,950)
研究業務支援事業収益	517,144,022	21,547,668	538,691,690
政府機関受託研究収益	251,544,442	10,481,018	262,025,460
民間企業等受託研究収益	492,943,488	20,539,312	513,482,800
④ 受取補助金等	(19,948,028)	(0)	(19,948,028)
受取政府機関補助金振替額	19,948,028	0	19,948,028
⑤ 受取寄付金	(81,116)	(0)	(81,116)
固定資産受贈益振替額	81,116	0	81,116
⑥ 雑収益	(632,106)	(26,338)	(658,444)
受取利息	1,649	69	1,718
雑収益	630,457	26,269	656,726
経常収益計	1,282,314,369	52,612,072	1,334,926,441
(2) 経常費用			
① 事業費	(1,244,487,042)	(0)	(1,244,487,042)
役員報酬	13,524,000	0	13,524,000
給料手当	359,300,780	0	359,300,780
賞与引当金繰入額	16,459,905	0	16,459,905
臨時雇賃金	89,309,577	0	89,309,577
退職給付費用	18,831,051	0	18,831,051
法定福利費	75,244,118	0	75,244,118
福利厚生費	3,486,433	0	3,486,433
人材派遣費	60,177,582	0	60,177,582
会議費	5,196,967	0	5,196,967
旅費交通費	27,628,227	0	27,628,227
通信運搬費	21,406,484	0	21,406,484
減価償却費	119,825,689	0	119,825,689
図書購入費	772,133	0	772,133
消耗品費	12,946,183	0	12,946,183

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
修繕費	4,067,627	0	4,067,627
印刷製本費	4,405,118	0	4,405,118
光熱水料費	7,201,688	0	7,201,688
調査研究費	145,121,018	0	145,121,018
保守点検費	35,748,224	0	35,748,224
データベース諸費	14,514,241	0	14,514,241
賃借料	96,330,083	0	96,330,083
清掃費	2,525,305	0	2,525,305
諸謝金	24,866,502	0	24,866,502
支払助成金	1,010,376	0	1,010,376
情報啓蒙費	3,548,869	0	3,548,869
保険料	1,105,123	0	1,105,123
諸会費	2,446,466	0	2,446,466
租税公課	69,937,578	0	69,937,578
支払利息	3,219,372	0	3,219,372
雑費	4,330,323	0	4,330,323
② 管理費	(0)	(51,517,497)	(51,517,497)
役員報酬	0	8,624,000	8,624,000
給料手当	0	19,813,273	19,813,273
賞与引当金繰入額	0	1,560,959	1,560,959
退職給付費用	0	2,869,025	2,869,025
法定福利費	0	3,559,978	3,559,978
会議費	0	1,750	1,750
旅費交通費	0	1,062,257	1,062,257
通信運搬費	0	47,841	47,841
減価償却費	0	58,029	58,029
消耗品費	0	100,348	100,348
印刷製本費	0	236,940	236,940
光熱水料費	0	305,779	305,779
保守点検費	0	55,000	55,000
賃借料	0	3,558,405	3,558,405
清掃費	0	269,465	269,465
諸謝金	0	5,213,120	5,213,120
保険料	0	112,277	112,277
諸会費	0	250,000	250,000
租税公課	0	3,719,112	3,719,112
支払利息	0	83,439	83,439
雑費	0	16,500	16,500
経常費用計	1,244,487,042	51,517,497	1,296,004,539
当期経常増減額	37,827,327	1,094,575	38,921,902

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 受取補助金等	(14)	(0)	(14)
受取政府機関補助金振替額	14	0	14
② 雑収益	(3,373,788)	(0)	(3,373,788)
雑収益	3,373,788	0	3,373,788
経常外収益計	3,373,802	0	3,373,802
(2) 経常外費用			
① 特定資産除却損	(14)	(0)	(14)
什器備品除却損	14	0	14
② 固定資産除却損	(180,032)	(0)	(180,032)
建物及び附属設備除却損	153,024	0	153,024
什器備品除却損	8	0	8
ソフトウェア除却損	27,000	0	27,000
経常外費用計	180,046	0	180,046
当期経常外増減額	3,193,756	0	3,193,756
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	41,021,083	1,094,575	42,115,658
一般正味財産期首残高			652,616,407
一般正味財産期末残高			694,732,065
II 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等	(0)	(0)	(0)
受取政府機関補助金	0	0	0
② 固定資産受贈益	(0)	(0)	(0)
什器備品受贈益	0	0	0
③ 一般正味財産への振替額	(△ 20,029,158)	(0)	(△ 20,029,158)
受取政府機関補助金振替額	△ 19,948,042	0	△ 19,948,042
什器備品受贈益振替額	△ 81,116	0	△ 81,116
当期指定正味財産増減額	△ 20,029,158	0	△ 20,029,158
指定正味財産期首残高			392,155,204
指定正味財産期末残高			372,126,046
III 正味財産期末残高			1,066,858,111

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記
記載すべき事項はない。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法
有価証券は保有していない。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
個別法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

① 自己所有の固定資産

定額法による減価償却を実施している。

② リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため、期末要支給額（簡便法）により算定した金額を計上している。

役員退職慰労引当金：役員に対する退職慰労金の支給に備えるため、期末要支給額により算定した金額を計上している。

賞与引当金：職員に対する賞与の支給に備えるため、翌年度の支給見込額のうち、当年度に帰属する額を計上している。

(5) リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引でリース料総額が3,000,000円以上のものは通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

上記以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

利息相当額の算定方法は利息法によっている。各期への配分方法についてはリース料総額とリース物件取得価額相当額との差額を利息額としている。

(6) 未収収益の計上

期をまたがり当期に完了しない受託契約について年度収益計上の適正化のため、未完了契約に関わる当期の期間経過分を一定の基準で未収金として追加計上している。

(7) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本金預金	300,000,000	0	0	300,000,000
小 計	300,000,000	0	0	300,000,000
特定資産				
建物及び附属設備	6	0	4	2
構築物	81,059,021	0	9,241,184	71,817,837
什器備品	23,545,177	0	10,787,970	12,757,207
退職給付引当資産	225,290,466	21,700,076	0	246,990,542
研究助成事業拡充資金	20,000,000	0	0	20,000,000
小 計	349,894,670	21,700,076	20,029,158	351,565,588
合 計	649,894,670	21,700,076	20,029,158	651,565,588

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基本金預金	300,000,000	(287,551,000)	(12,449,000)	—
小 計	300,000,000	(287,551,000)	(12,449,000)	—
特定資産				
建物及び附属設備	2	(2)	—	—
構築物	71,817,837	(71,817,837)	—	—
什器備品	12,757,207	(12,757,207)	—	—
退職給付引当資産	246,990,542	—	—	(246,990,542)
研究助成事業拡充資金	20,000,000	—	(20,000,000)	—
小 計	351,565,588	(84,575,046)	(20,000,000)	(246,990,542)
合 計	651,565,588	(372,126,046)	(32,449,000)	(246,990,542)

5. 担保に供している資産

担保に供している資産はない。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建物及び附属設備	1,813,014	1,813,012	2
構築物	184,485,200	112,667,363	71,817,837
什器備品	103,205,450	90,448,243	12,757,207
ソフトウェア	0	0	0
小 計	289,503,664	204,928,618	84,575,046
その他固定資産			
建物及び附属設備	44,338,430	29,082,456	15,255,974
構築物	524,154,038	230,432,892	293,721,146
什器備品	153,592,910	136,892,629	16,700,281
リース資産	248,960,520	233,441,640	15,518,880
ソフトウェア	4,406,912	3,439,411	967,501
小 計	975,452,810	633,289,028	342,163,782
合 計	1,264,956,474	838,217,646	426,738,828

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

貸倒が予見されないため貸倒引当金は計上していない。

8. 保証債務等の偶発債務

保証債務はない。

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的債券は保有していない。

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
深地層の研究施設を使用した 試験研究成果に基づく当該施設 の理解促進事業費補助金	経済産 業省	104,306,381	0	19,948,042	84,358,339	指定正味財産
合計		104,306,381	0	19,948,042	84,358,339	

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額	うち、政府機関補助金の金額
経常収益への振替額		
目的たる支出を行ったことによる振替額	0	0
減価償却費計上による振替額	20,029,144	19,948,028
経常外収益への振替額		
特定資産除却損計上による振替額	14	14
合 計	20,029,158	19,948,042

12. 関連当事者との取引の内容

記載すべき事項はない。

13. 重要な後発事象

記載すべき事項はない。

14. その他

(1) 政府機関受託研究収益の内訳

正味財産増減計算書の政府機関受託研究収益に計上の受託調査研究課題等は、次のとおりである。

(単位：円)

委託元	調査研究課題	金額
文部科学省	科学技術基礎調査等委託事業 「地震調査研究推進本部の評価等支援事業」	246,025,460
国立研究開発法人 防災科学技術研究所	「活断層の詳細位置情報等に関する調査研究」	16,000,000
合 計		262,025,460

(2) 研究者からの委託を受けて管理を行った科学研究費補助金

研究者からの委託を受け、次のとおり科学研究費補助金(学術研究助成基金助成金を含む。)の管理を行った。

(単位：円)

当期収入	件 数
(520,000)	2 件
156,000	

(注1)間接経費を記載し、直接経費については()内に記載している。

(注2)間接経費については、研究者から譲渡を受け(正味財産増減計算書の「雑収益」に計上。)

研究開発環境の改善等に資する経費に使用している。

(3) リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

その他固定資産

公益目的事業における地震観測装置等である。

(4) 退職給付関係

① 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

② 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

A 退職給付債務	△ 246,990,542
B 会計基準変更時差異の未処理額	0
C 退職給付引当金(A+B)	△ 246,990,542

③ 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

A 勤務費用	21,700,076
B 会計基準変更時差異の費用処理額	0
C 退職給付費用(A+B)	21,700,076

④ 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

(5) 資産除去債務関係

当財団は、事務所等の不動産賃貸借契約に基づき、退去時の原状回復に係る債務等を有しているが、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、現時点において将来退去する予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができないため計上していない。

計算書類の附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金(三菱UFJ銀行 新丸の内支店)	163,000,000	0	0	163,000,000
	定期預金(三井住友銀行 神田支店)	45,000,000	0	0	45,000,000
	定期預金(三井住友銀行 神田支店)	92,000,000	0	0	92,000,000
	基本財産計	300,000,000	0	0	300,000,000
特定資産	建物及び附属設備(東濃地震科学研 究所計測室工事等)	6	0	4	2
	構築物(東濃地震科学研究所地殻観 測井等)	81,059,021	0	9,241,184	71,817,837
	什器備品(東濃地震科学研究所地震 観測装置等)	23,545,177	0	10,787,970	12,757,207
	退職給付引当資産 定期預金(三井住友銀行 神田支店)	225,290,466	21,700,076	0	246,990,542
	研究助成事業拡充資金 普通預金(三井住友銀行 神田支店)	20,000,000	0	0	20,000,000
	特定資産計	349,894,670	21,700,076	20,029,158	351,565,588

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	17,680,171	18,020,864	17,680,171	0	18,020,864
退職給付引当金	212,942,466	19,600,076		0	232,542,542
役員退職慰労引当金	12,348,000	2,100,000		0	14,448,000

財 産 目 録

2023年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	現金手許有高		0
預金	<普通預金>	運転資金として	
	三菱UFJ銀行 新丸の内支店	(本部)	1,297,027
	三井住友銀行 神田支店	(本部)	86,893,461
	三井住友銀行 神田支店	(地震調査研究センター)	70,752,866
	三井住友銀行 神田支店	(つくば観測技術センター)	20,534,660
	三井住友銀行 神田支店	(科学研究費補助金)	246,903
	常陽銀行 大穂支店	(つくば観測技術センター)	3,819,560
	<当座預金>	運転資金として	
	三井住友銀行 神田支店	(本部)	1,000
	三井住友銀行 神田支店	(地震調査研究センター)	1,000
		<現金預金計>	183,546,477
未収金	西日本技術開発株式会社	受託研究収益	139,150,000
	東京電力ホールディングス株式会社	受託研究収益	113,300,000
	国立研究開発法人防災科学技術研究所	受託研究収益	59,705,412
	その他	受託研究収益等	145,348,502
		<未収金計>	457,503,914
前払金	地震観測装置等の再リース料	地震観測装置等の翌期に係る前払再リース料	15,269,366
	土地使用料	地震計設置地点の翌期以降に係る前払土地使用料	6,024,000
	役職員前払通勤交通費	役職員の翌期に係る前払通勤交通費	4,189,890
	その他	上記以外の前払費用	8,924,109
		<前払金計>	34,407,365
流動資産合計			675,457,756

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(固定資産)				
基本財産	基本金預金	< 定期預金 >		
		三菱UFJ銀行 新丸の内支店	共用財産であり、公益目的保有財産及び管理目的の財源として使用する財産	163,000,000
			うち、公益目的保有財産 50%	81,500,000
			うち、管理目的の財源として使用する財産 50%	81,500,000
		三井住友銀行 神田支店	共用財産であり、公益目的保有財産及び管理目的の財源として使用する財産	137,000,000
			うち、公益目的保有財産 50%	68,500,000
			うち、管理目的の財源として使用する財産 50%	68,500,000
			< 基本財産計 >	300,000,000
特定資産	建物及び附属設備	東濃地震科学研究所計測室工事等 2件	公益目的保有財産	2
	構築物	東濃地震科学研究所地殻観測井掘削工事等 15件	公益目的保有財産	71,817,837
	什器備品	東濃地震科学研究所地震観測装置等 33件	公益目的保有財産	12,757,207
		< 定期預金 >		
	退職給付引当資産	三井住友銀行 神田支店	当法人全職員の退職給付引当金及び全常勤役員の退職慰労引当金見合の引当資産として管理している。	246,990,542
	研究助成事業拡充資金	三井住友銀行 神田支店	特定費用準備資金(公益目的)として管理している。	20,000,000
			< 特定資産合計 >	351,565,588
その他固定資産	建物及び附属設備	本部研究部サーバ室間仕切り工事等 13件	公益目的保有財産	14,289,411
		本部事務所LAN配線工事等 8件	(共用財産)	966,563
			うち、公益目的保有財産 90%	869,907
			うち、管理目的の用に使用する財産 10%	96,656
			< (その他固定資産) 建物及び附属設備計 >	15,255,974
	構築物	本部地震観測点設置工事 47件	公益目的保有財産	293,721,146
	什器備品	地震計等 184件	公益目的保有財産	16,160,903
		本部事務所パソコン等 19件	(共用財産)	539,378
			うち、公益目的保有財産 90%	485,439
			うち、管理目的の用に使用する財産 10%	53,939
			< (その他固定資産) 什器備品計 >	16,700,281
	リース資産	地震観測装置及び観測システム装置、CCDスキャナ	公益目的事業の用に供している財産	15,518,880

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
ソフトウェア	波形スペクトル表示ソフト開発等 10件 PCA公益法人会計バージョンアップ料等 2件	公益目的保有財産	634,384	
		(共用財産)	333,117	
		うち、公益目的保有財産 90%	299,805	
		うち、管理目的の用に使用する財産 10%	33,312	
		<(その他固定資産)ソフトウェア計>	967,501	
	電話加入権	03-3295-1501等 9本	公益目的保有財産	674,856
			(共用財産)	1,132,980
		03-3295-1966等 15本	うち、公益目的保有財産 90%	1,019,682
			うち、管理目的の用に使用する財産 10%	113,298
			<(その他固定資産)電話加入権計>	1,807,836
	敷金	千代田ビル8階 395㎡ (本部事務所敷金)	(共用財産)	21,883,240
			うち、公益目的保有財産 90%	19,694,916
		千代田ビル8階 253㎡ (地震調査研究センター事務所敷金)	うち、管理目的の用に使用する財産 10%	2,188,324
			公益目的保有財産	13,297,080
			<(その他固定資産)敷金計>	36,204,070
保証金	北信ビル5階 83㎡ (資料倉庫敷金)	公益目的保有財産	1,023,750	
		<(その他固定資産)敷金計>	36,204,070	
	B・Fビル4階 54㎡ (資料倉庫保証金)	公益目的保有財産	1,120,000	
		第三芳村ビル3階 102㎡ (つくば観測技術センター事務所保証金)	948,332	
		<(その他固定資産)保証金計>	2,068,332	
<その他固定資産計>			382,244,020	
固定資産合計	<固定資産内訳> 公益目的保有財産(リース資産を含む) 負債に対応する引当資産 管理目的の財源等として使用する財産 特定費用準備資金(公益目的)		1,033,809,608	
資産合計			1,709,267,364	

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	神田税務署	消費税及び地方消費税の未払分	7,621,700
		一般社団法人GEOASIA研究会	液化化発生過程と地震動継続時間を考慮した球形ガスホルダーの耐震性照査	4,400,000
		(株)エヌエフ回路設計ブロック	高感度地震観測施設の観測機器等予備品管理業務	4,180,000
		その他		50,159,082
			<未払金計>	66,360,782
	預り金	職員等に対するもの	職員及び委員等に対する源泉所得税、住民税、社会保険料の預り金	3,877,603
		委員等に対するもの	委員等に対する報酬源泉所得税の預り金	258,736
		科学研究費補助金	科学研究費補助金の預り金	246,903
			<預り金計>	4,383,242
	短期借入金	三菱UFJ銀行 新丸の内支店	運転資金	120,000,000
		三井住友銀行 神田支店	運転資金	170,000,000
			<短期借入金計>	290,000,000
	短期リース債務	昭和リース株式会社	地震観測装置リース料の未払い分	16,138,020
		リコーリース株式会社	CCDスキャナリース料の未払い分	515,803
		<短期リース債務計>	16,653,823	
賞与引当金	職員に対するもの	2023年度上期職員賞与の引当金	18,020,864	
			<賞与引当金計>	18,020,864
流動負債合計				395,418,711
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員の退職給付金の引当金	232,542,542
				<退職給付引当金計>
	役員退職慰労引当金	役員に対するもの	常勤役員の退職慰労金の引当金	14,448,000
			<役員退職慰労引当金計>	14,448,000
固定負債合計				246,990,542
負債合計				642,409,253
正味財産				1,066,858,111

以上のとおり報告いたします。

2023年5月30日

公益財団法人地震予知総合研究振興会

会 長 金 沢 敏 彦

監事監査報告書

公益財団法人 地震予知総合研究振興会

会長 金沢 敏彦 殿

2023年5月30日

公益財団法人 地震予知総合研究振興会

監事 重本 一博

監事 船田 孝司



私たちは、2022年4月1日から2023年3月31日までの2022事業年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法の概要

(1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録の正確性を検討した。

(2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。

以上

独立監査人の監査報告書

2023年5月26日

公益財団法人 地震予知総合研究振興会
代表理事 金沢 敏彦 殿

富山公認会計士事務所
東京都千代田区

公認会計士

富山 泰道



<財務諸表等監査>

監査意見

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づく監査に準じて、公益財団法人地震予知総合研究振興会の2022年4月1日から2023年3月31日までの2022事業年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドラインI-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書並びに財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私の財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における私の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は私が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私が報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は

継続組織として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した

内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<財産目録に対する意見>

財産目録に対する監査意見

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人地震予知総合研究振興会の 2023 年 3 月 31 日現在の 2022 事業年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない